

令和6年度 決算報告書

国立大学法人 弘前大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,371	10,599	228	(注1)
施設整備費補助金	2,764	2,708	△56	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	756	1,579	823	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	0	
自己収入	30,861	31,199	338	
授業料、入学料及び検定料収入	3,823	3,698	△125	(注4)
附属病院収入	26,749	27,183	434	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	289	318	29	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,461	4,012	551	(注7)
引当金取崩	204	208	4	
長期借入金収入	1,406	1,350	△56	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	581	577	△4	
引当特定資産取崩	-	-	-	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成	-	-	-	
大学運営基金取崩	-	-	-	
計	50,424	52,252	1,828	
支出				
業務費	41,387	41,646	259	
教育研究経費	15,433	15,458	25	(注8)
診療経費	25,954	26,188	234	(注9)
施設整備費	4,189	4,079	△110	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	359	1,112	753	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,461	2,954	△507	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,028	1,014	△14	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成事業費	-	-	-	
計	50,424	50,805	381	
収入－支出	-	1,447	1,447	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、教育・研究基盤維持経費及び授業料免除分の追加配分があったことや、前年度からの繰越額を使用したことに伴い、予算額に比して決算額が228百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階より前年度の実施額が増加したことに伴い当年度の実施額が減少したため、予算額に比して決算額が56百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国及び地方公共団体等からの補助金の受入があったため、予算額に比して決算額が823百万円多額となっています。
また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が395百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、令和7年度の高等教育修学支援新制度の支援拡大に伴い、令和7年度入学者に係る入学料及び前受授業料収入が見込みより減少したことにより、予算額に比して決算額が125百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、高額薬剤の使用増などに伴い診療単価が上昇したため、予算額に比して決算額が434百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として農場収入や医療機器の処分収入等により、予算額に比して決算額が29百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究契約等の増加や寄附金の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が551百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、自己都合退職者の増加に伴い退職手当が増加したため、予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。
- (注9) 診療経費については、手術件数及び外来化学療法が増加に伴い医薬品・材料費の支出が増加したため、予算額に比して決算額が234百万円多額となっています。

(注10) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が753百万円多額となっています。

(注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金等による支出が予算段階より減となったことにより、予算額に比して決算額が507百万円少額となっています。